

次世代育成支援東京都行動計画（後期） 評価指標
 < 計画全体 >

参考3 - 1

評価指標		出典
・労働力率(男女別・年齢階層別)(表0 - 1 ~ 4)	< 若者の社会的自立【理念】 > < 女性の就労継続【理念】 >	【労働力調査】
・児童のいる家庭の母親の就業率(表0 - 5)	< 女性の就労継続【理念】 >	【福祉保健基礎調査】(H9,H14,H19,H24)
・母親の離職状況(表0 - 6)	< 女性の就労継続【理念】 >	【福祉保健基礎調査】(H9,H14,H19,H24) (以前働いていた人の割合)
・平均初婚年齢、第一子出生時の母の平均年齢(表0 - 7, 8)	< 晩婚化・晩産化の状況 >	【人口動態統計】
・出生数(表0 - 9)	< 安心して出産できる社会であるか【理念】 >	【人口動態統計】
・合計特殊出生率(表0 - 9)	< 安心して出産できる社会であるか【理念】 >	【人口動態統計】
・年少人口(0 ~ 14歳)(表0 - 10)	< 安心して出産できる社会であるか【理念】 >	【住民基本台帳による東京都の世帯と人口】
・子育てをされていて日ごろ感じること(表0-11 ~ 38)	< 子育ての喜びを実感できる社会であるか【理念】 > < 社会に助けられているか(過度の不安、負担感がないか)【理念】 >	【福祉保健基礎調査】(H9,H14,H19,H24)

懇談会での意見を受けて追加

次世代育成支援東京都行動計画（後期） 目標設定事業及び評価指標

【目標1】地域で安心して子育てができる新たな仕組みづくり

目標設定事業

事業名	26年度目標
*子ども家庭総合センター(仮称)の整備	24年度開設
*ショートステイ	62区市町村
*一時預かり事業	40万人
*乳児家庭全戸訪問事業	62区市町村
*子育てひろば事業	879か所
*養育支援訪問事業	62区市町村
*ファミリーサポート・センター事業	提供会員数 13,500人
*こども救命センターの創設	(H22年度)4か所
*周産期医療システムの整備	NICU 320床
*母体救命対応総合周産期母子医療センターの設置	(H22年度)4か所

評価指標 < 施策レベル = 目標レベル >

評価指標	出典
地域での子育て支援	
・子供家庭支援センター相談対応件数(表1 - 1)	【区市町村児童家庭相談統計】
・新生児訪問実施率(表1 - 2)	【東京都母子保健事業報告年報】
小児・母子医療体制の整備	
・新生児死亡率(表1 - 3)	【人口動態統計】

【目標2】仕事と家庭生活との両立の実現

目標設定事業

事業名	26年度目標
*通常保育事業	(27年4月時点)保育サービス利用児童数:228,500人 計画期間内に35,000人増
*定期利用保育事業	40万人
*夜間保育事業	午後10時までの開所 64か所
*延長保育事業	都内 全認可保育所での実施(うち2時間以上延長 3割) 島しょ部除く
*休日保育事業	100か所
*病児・病後児保育事業	140か所
*学童クラブ運営費補助事業	登録児童数:計画期間内に20,000人増

評価指標 < 施策レベル = 目標レベル >

評価指標	出典
仕事と家庭生活の調和	
・帰宅時間(表2 - 1,2)	【福祉保健基礎調査】(H19,H24)
・家事・育児の分担割合(表2 - 3,4)	【福祉保健基礎調査】(H24)
・週労働時間60時間以上の労働者の割合(表2 - 5)	【就業構造基本調査】(H14,H19,H24)
・育児休業取得率(表2 - 6,7)	【東京都男女雇用平等参画状況調査】
・年休取得日数(表2 - 8,9)	【東京都男女雇用平等参画状況調査】
・一般事業主行動計画策定届出率、次世代法に基づく認定企業数(表2 - 10)	【厚生労働省調べ】
都市型保育サービスの充実	
・保育サービス利用率(表2 - 11)	【福祉保健局調べ】
・認可保育所利用率(年齢別)(表2 - 12)	【福祉保健局調べ】
・認証保育所利用率(年齢別)(表2 - 13)	【福祉保健局調べ】
・年齢別保育所待機児童数及び保育所定員数(表2 - 14)	【福祉保健局調べ】
・学童クラブ登録児童数、待機児童数(表2 - 15)	【福祉保健局調べ】

懇談会での意見を受けて追加

【目標3】次代を担う子供達がたくましく成長し、自立する基盤づくり

目標設定事業

事業名	26年度目標
*地域スポーツクラブの設立・育成支援事業	(25年度) 全62区市町村 (28年度) 100クラブ
*総合的な子供の基礎体力向上方策の推進	3年後に全国平均値 10年後に30年前の水準に
*高等学校「家庭」における保育体験活動の充実	全都立高校において保育体験活動を実施

評価指標 < 施策レベル = 目標レベル >

評価指標	出典
子供の生きる力をはぐむ環境の整備	
・全国体力調査結果(表3 - 1,2)	[全国体力・運動能力、運動習慣等調査]
・不登校者数(表3 - 3)	[学校基本調査]
・児童生徒の暴力行為発生件数(表3 - 4)	[児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査]
次代を担う人づくりの推進	
・労働力率(年齢階層別)(表0 - 1 ~ 4)[若年者の就労状況]	[労働力調査]

【目標4】特別な支援を必要とする子供や家庭の自立を促進する基盤づくり

目標設定事業

事業名	26年度目標
*養育家庭の拡充	家庭的養護を社会的養護の35%にする。
*養護児童グループホームの設置促進	
*小規模グループケア実施	100%
*母子家庭自立支援教育訓練給付金事業	都内全域での実施
*母子家庭高等技能訓練促進事業	

評価指標 < 施策レベル = 目標レベル >

評価指標	出典
児童虐待防止対策の推進	
・虐待相談対応件数(表4 - 1)	【福祉保健局調べ】
ひとり親家庭の自立支援	
・ひとり親世帯の年間世帯収入(表4 - 2,3)	【福祉保健基礎調査】(H14,H19,H24)
・ひとり親世帯の就労状況(表4 - 4,5)	【福祉保健基礎調査】(H14,H19,H24)
・ひとり親世帯に占める生活保護受給率(表4 - 6,7)	【福祉保健基礎調査】(H14,H19,H24)
・ひとり親世帯での困っていること(表4 - 8,9)	【福祉保健基礎調査】(H14,H19,H24)
・ひとり親支援センター相談件数・就職者数(表4 - 10)	【福祉保健局調べ】
障害児施策の充実	
・障害児保育の利用児童数(表4 - 11)	【福祉保健局調べ】
・障害児の学童クラブ利用児童数、指導員研修実施クラブ数(表4 - 12,13)	【福祉保健局調べ】

懇談会での意見を受けて追加

【目標5】子供の安全と安心を確保し、子育てを支援する環境づくり

目標設定事業

事業名	26年度目標
*信号機の導入、整備	平成22年度は既存の整備計画の枠内で実施、平成23年度以降は22年度の実施結果及び実態調査結果を踏まえて策定
*「赤ちゃん・ふらっと」の整備	(H20～22年度)各年度200か所
*駅施設のバリアフリー化(エレベーターの設置)	(24年度)すべての駅でエレベータ等により1ルートを確保
*ノンステップバスの導入	(24年度)全ての路線バス車両に導入

評価指標 < 施策レベル = 目標レベル >

評価指標	出典
子供を犯罪等の被害から守るための取組の推進	
・福祉犯罪の検挙状況(表5 - 1)	[警視庁統計]
・福祉犯罪(性的被害)による保護状況(表5 - 2)	[警視庁 少年非行の傾向]
子供の安全を確保する取組	
・子供の携帯電話保有率(表5 - 3)	[子供のインターネット・携帯電話利用についての実態調査(教育庁)]
・子供の携帯電話のフィルタリング付加割合(表5 - 4)	[子供のインターネット・携帯電話利用についての実態調査(教育庁)]
・子供のインターネットや携帯ネットでのトラブルや被害(表5 - 5)	[子供のインターネット・携帯電話利用についての実態調査(教育庁)]
・交通事故の死傷者数(表5 - 6)	[警視庁統計]